

ぼうさいじゅんぴ 防災準備 いつやるの？

日本の自然災害には、台風・大雨・洪水・地震・土砂災害・津波などがあります。被害を少なくする「減災」のために、日頃の準備が大切です。外国人市民と一緒に、「すごろくゲーム」をしながら、考えてみましょう。



まな ぼうさい すごろくゲームで学ぶ防災



①自治会に入っている？
「近所にもだちがいる？」

②Startに戻ろう
「防災訓練に参加しよう」

③地域の情報をチェックしよう！

- ・防災マップ
- ・ハザードマップ
- ・防災リーフレット

「多言語版があるよ！」

「わいわい防災マップは www.city.yokohama.lg.jp/ で見よう」

④地域の避難場所を知っている？
地域防災拠点（指定されている小学校・中学校）

⑤一回休み
地震が起きる前の対策・備えが大切！

⑥家の中の危険箇所チェックしよう！
タンス・テレビ・窓ガラス

⑪家に帰れない！
通勤・通学の途中で…
「帰宅ルートを確かめておこう」

⑦一つ戻るよ！
消火器や住宅用火災警報器をつけよう

⑫災害時帰宅支援ステーション

⑩一回休み
Shakeout訓練
www.shakeout.jp を見よう

⑧家は大丈夫？
無料耐震診断の相談は、
☎671-2943 建築局建築企画課

⑬寝る時、着替えと履物の用意が安全

⑭④に戻ろう
「避難所のものが食べられない・アレルギーに注意！」

⑮災害の備え 備蓄品の準備
「最低でも3日分、できれば1週間分の飲料水と食料品を備えよう」

非常持出袋の準備も大切！

⑨地震が来た！
あなたは？
「落ちついて身の安全」

⑯「避難カード」を作っておこう

⑯情報入手
外国人震災時情報センター
(大きい地震が起きて、被害があると、YOKE内に設置)
・青葉国際交流ラウンジ

翻訳・相談・通訳ボランティア

⑳災害用伝言ダイヤル 171の使い方を知っている？
「体験利用をしてみよう」

㉑携帯電話「災害用伝言板サービス」に登録する
「安否情報が確認できる」

災害用伝言ダイヤルの使用法

録音: 171 → 1
再生: 171 → 2

被災地からは自宅の電話番号、被災地外からは被災地の連絡をとりたい番号
伝言を入れる (1件30秒以内、最大10件まで)
伝言を聞く

※一般電話(ラッシュ回線、ダイヤル回線とも)、公衆電話、携帯電話、PHS*等から利用できます。
*一部事業者は除きます。

引用資料: 1) 九都県市合同防災訓練連絡部会 2) 滋賀県国際協会

⑲チャレンジ
家族との連絡を
取り合う準備！
ここで2がでたら
GOAL!

⑱手回し充電式のラジオは便利！
FM サルース・FM ヨコハマ

⑰ラジオ・テレビ
などで情報を
知る
防災HP (外国語のサイト)

*2012年1月号「広報よこはま青葉区版」を参考にしました。